平高通信 VOL 25

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

卒業式を挙行

◆新たな世界への旅立ち

令和３年度平舘高校卒業式は３月１日、平高体育館で行われ、卒業生40人がそれぞれの目標に向け母校を巣立ちました。

北島亨校長は式辞で「社会人としてテンシュカク（テンション、修正力、確認）が大切」と激励。佐々木孝弘市長は「市は皆さんがいつでも戻って来られるふるさとだということを忘れずに、次は成人式で会いましょう」と温かい言葉で祝福しました。

卒業証書授与式の様子

卒業生代表の神田萌（めぐみ）さんは答辞の中で「優しく笑顔あふれる平高を今後も継続させてほしい」と後輩を激励しました。

卒業生は、家庭クラブの生徒が紫根染のポケットチーフで作った紫のバラ（花言葉は気品・誇り・尊敬など）に見立てたコサージュを胸に、新たな一歩を踏み出しました。

◆３月16日現在の進路状況

進学決定率、就職内定率共に100％を達成しました。進学先は、岩手大学や盛岡大学、県立二戸高等看護学院、県立産業技術短期大学校、岩手リハビリテーション学院などで、市内企業への就職者数は14人です。

進学・就職状況	合格・内定数
４年制大学	2
短大	1
専門学校(医療系含む)	11
大学校	1
就職(全て県内)	24

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

吹奏楽部

遠藤 麻衣（まい）さん

（家政科学科３年：西根中出身）

★平高に入学した理由

学校説明会のときに、平高家政科学科でもともと興味のあった保育関係の勉強ができるということを知り、入学を決めました。

★平高で頑張っていること

各種検定に挑戦し、資格を取得することに力を入れています。学校での隙間時間や家庭学習を有効に使い勉強しています。

★生徒会活動について

現在、校則の見直しを進めています。中でも髪型や服装、スマートフォンの使用、アルバイトの規定を時代に合ったものにするため、生徒会全員で真剣に考え、５月の生徒総会で審議できるように進めています。自分たちで考え、新しいものを作る作業にとてもやりがいを感じています。

★卒業後の自分

保育士になるために専門学校に進学し、知識と経験を積みたいです。卒業後は八幡平市で保育士として働き、子どもたちや保護者の皆さんから信頼されるような先生になりたいです。

紫薫祭の吹奏楽部ステージ発表でサックスを奏でる遠藤さん

平高通信 VOL 26

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

令和４年度入学式を挙行

◆それぞれの思いを胸に　新たなスタート

平舘高校入学式は４月８日、本校体育館で行われ、新しい制服をまとい、りりしい態度で臨んだ新入生52名が北島亨校長から入学許可を受けました。

北島校長は「夢の実現のために今をどう生きるかが大事、日々の生活の中でさまざまなことに関心を持ちながら生活していこう」と式辞。佐々木孝弘市長は「目標意識を持って勉学に励み、充実した生活を送ってほしい」と激励しました。新入生代表の井戸竜汰さんは「目標達成のため精一杯努力すること、あらゆることに積極的に取り組むこと、地域社会に貢献すること」と宣誓。迎える在校生代表の生徒会長小澤優奈さんは「校訓の開拓者精神のもと、共によりよい平舘高校を築きあげていきましょう」と歓迎しました。新入生は保護者に見守られ、新たな一歩を踏み出しました。

誓いの言葉を述べる井戸さん

◆２年連続県大会出場を目指して

平高野球部は新入部員７人を迎え、部員18人でスタートしました。昨年度は持ち前のチームワークで激戦の盛岡地区大会を勝ち上がり、県大会に出場し、歴史的１勝を挙げました。

部員は、先輩を超える成績を残したいという意気込みで、日々練習に励んでいます。

新ユニフォーム「平高ブルー」

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

スキー部　部長

工藤 瑞歩（みずほ）さん

（普通科３年：安代中出身）

★平高に入学した理由

自宅から近いスキー場で練習ができ、指導を受けたい先生もいたため、スキーに取り組む環境が整っている平高に入学を決めました。

★平高で頑張っていること

部活動を一番に頑張っています。インターハイに出場して入賞することが目標なので、10キロランやロードバイク、水泳、ウエイトなど夏場のトレーニングを全力で頑張っています。目標が明確なので、つらいと感じることはあまりありません。

★平高の魅力は？

各種行事が楽しいこと、地域の人との交流もあり、来校時に声を掛けてもらったり、応援してもらえることです。

★これからの夢や目標

将来の夢は保育士になることです。ピアノ伴奏をして子どもたちと楽しく歌を歌ったり、思い切り体を動かして遊んだりして、子どもが心を開き、頼られる保育士になりたいです。そのためには部活動と勉強を両立し、資格を取得するために、大学に進学したいです。

地元で開催された第71回全国高等学校スキー大会で積極果敢に滑走する工藤さん

平高通信 VOL 27

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

令和４年度保健講話を開催

◆食事について正しい知識を学ぶ

保健講話は４月26日、全校生徒を対象に平高体育館で開かれました。思春期の高校生は生涯にわたる健康の基礎となる生活習慣を確立する大切な時期であり、特にも食生活の大切さについて学んで欲しいという思いから、校内の保健厚生課が毎年企画しています。講師に県央保健所の菊地智子上席栄養士を招き「賢く食べる～身体と心を支える食生活～」という演題で講義。生徒たちは自分の食生活を振り返りながら、毎日の食事が健康な体や心を育む基本であることや、適度な運動とバランス良く食べることが生活習慣病予防になることなどを学ぶ貴重な機会となりました。

全校生徒で食生活の大切さを学ぶ

部活動で学年を超えたつながり

◆仲間とともに景色を楽しむ

平高山岳部は新入生２名が加わり、現在部員６名で活動しています。仲間とともに安全に登山を楽しむため、日々トレーニングと座学に励みながら、毎週末には地元八幡平市や近隣の山々に趣き、登山を堪能しています。

５月の高総体県大会では、３位入賞を目標に頑張っています。

好天の下、記念の一枚

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

応援団　団長

瀬川 流星（りゅうせい）さん

（普通科３年：川口中出身）

★平高に入学した理由

平高生で野球部員でもあった兄から、高校の雰囲気や授業のこと、部活動のことを聞いていたということもありますが、学校説明会に参加して、先輩たちが楽しそうに学校紹介をしている姿が印象的で、平高なら自分もたくさんの思い出を作ることができると思い入学を決めました。

★平高の魅力は？

平高はあいさつが活発な学校です。先生や部活の先輩だけでなく、通学時など地域の人へのあいさつも欠かさないので、地元に根付き、つながりを大事にする学校だと思っています。

★これからの夢や目標は？

自分の長所である「積極的で明るいところ」を強みに、地元企業に就職し、一生懸命働いて親孝行したいと思います。目標を実現するために一つでも多くの検定や資格を取得できるよう勉強しています。

また、応援団長もやっているので、平高の元気なあいさつと校歌・応援歌を後輩に伝えられるよう頑張っています。

一球入魂！投手として、大きな掛け声でチームを牽引します

平高通信 VOL 28

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

地域と連携し魅力的な活動を展開

◆地熱染めを利用したピンワーク実習

本校では地域の資源や良さを学び、生活に活用していく能力を育成する実践活動を進めています。本年度は５月18日に３年生家政科学科「課題研究」家庭クラブ班を対象に、被服製作などに生かせるよう地熱染めの布を利用して、細いピンや糸を使い展示をするピンワークの授業をしました。講師を務めた染色家の髙橋陽子さん、鈴木絵美さん（地熱染色研究所）から、地熱染めの布を使用しシルクピンだけで一着のドレスのように仕上げる実演を交えた講義が行われ、染色した布をきれいに見せるために、アクセントとして一枚の布から花やリボンをあしらう手法などを学ぶと、生徒は個性的なオリジナルのドレス作品を仕上げました。

工夫してシルエットを美しく表現

◆ひょうたん池への誘導看板を設置

美術部は５月26日、平舘青商会（齋藤学会長）の指導の下、学校近くの憩いの場である「ひょうたん池」への誘導看板を設置しました。ひょうたん池誘致活性化事業は３年目となり、ひょうたん型や平高のキャラクター「平丸」を取り入れたりと、カラフルで楽しいデザインの看板を目にすることができます。より多くの方が池を訪れるキッカケになれば嬉しいです。

力作ぞろいの自慢の出来栄え

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

家庭研究部・家庭クラブ会長
櫻 結槻（ゆづき）さん
（家政科学科３年：西根中出身）

★平高に入学した理由

学校説明会や体験入学を通し、平高家政科学科では、保育や被服、調理などさまざまな家庭専門科目を学ぶことができると知り、入学を決めました。また先輩たちが資格取得に一生懸命取り組んでいる姿に、自分も入学して同じように頑張りたいと思いました。

★平高で頑張っていること

家庭クラブ会長として、クラブ員とともに、エコ活を中心とした研究活動を頑張っています。現在は、自分たちが考案した「マイバッグ」の製作と普及を継続しつつ、７月末に山形県で開催される全国大会に向け、発表練習を頑張っています。私たちの活動を全国の皆さんに知ってもらう良い機会になると思うので、悔いの残らないよう最後まで頑張ります。

★平高の魅力は？

紫根染めや紫薫枕（しくんまくら）の製作を継承していることが魅力で、ムラサキを使った活動は素晴らしいことだと思っています。小学生への紫根染め体験教室なども企画し、異世代との交流ができることも魅力です。

家庭クラブ全国大会での発表に向けて、猛練習中の櫻さん

平高通信 VOL 29

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

理解と支援の下で１学期も終わりに

◆復興教育に取り組んでいます

本校は、県教育委員会から４年度「学校安全総合支援事業」（いわての復興教育スクール＜内陸＞）の指定を受け、復興教育を推進中です。

取り組みの一つとして、３学年生徒51人は６月15日、東日本大震災の被災地である陸前高田市を訪問。陸前高田商工会会長の伊東孝氏、副会長の磐井正篤氏から震災当時や復興の様子について説明を受けながら市内を見学しました。その後、高田高を訪問。伊藤正則副校長から避難行動などを聞き、午後には、東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）を見学しました。

説明に真剣に耳を傾ける生徒たち

生徒は現地を訪れたことで、災害を自分の事として自らの避難行動を考える貴重な機会となりました。

今後は、田頭小の中軽米利夫校長、市防災安全課防災対策専門員の瀬川正雄氏を講師に、地元で起こりうる災害に備えた防災授業を行う予定です。

◆市から助成を受け、制服購入費の一部を支援

平舘高等学校教育振興会は、入学時に制服を購入し申請を行った保護者を対象に、購入費用の一部支援として補助金を支給しました。この補助金は、本校の教育振興のため市から助成を受けて支給したもので、本年度が初めてとなります。

夏服を爽やかに着こなす１年生

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

相撲部　部長

伊藤 憂（ゆう）さん

（普通科３年：西根第一中出身）

★平高に入学した理由

小学校２年生から始めた相撲を続け、全国大会で入賞するという目標をかなえるために、県内の高校で特に相撲部に力を入れている平高に入学を決めました。

★平高で頑張っていること

部活動は、コロナの影響で大会がかなり少なくなってしまいましたが、数少ない大会を大事にしようと決めました。大会直前の練習は特に大変でしたが、勝利を目指してハードな練習にもへこたれず頑張ってきました。

★平高の魅力は？

生徒数が少ない分、先生がちょうどいいペースで分かりやすく授業をしてくれること、一人一人の進路に真剣に向き合ってくれることが魅力です。

★将来の夢は？

警察官を目指しています。理由は、単純に警察官の仕事がかっこいいと思ったことと、仕事をするなら人や地域を守る仕事がしたかったからです。

そのために普段の授業はしっかり受け、勉強も頑張って取り組んでいます。

第73回東北高等学校相撲選手権大会（秋田県美郷町）
個人体重別80kg級　突き落としで勝利した伊藤さん

平高通信 VOL 30

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

八幡平市探究「ハチタン」がスタート

平高では、総合的な探究の時間の取り組みとして、八幡平市の歴史・文化・自然・産業や観光について探究し、八幡平市の魅力を自分の言葉で発信する八幡平探究(通称「ハチタン」)に３年間を通して取り組んでいます。１年生52人はそのスタートとして、市を理解するための校外学習を実施し、県立博物館、市博物館、安比塗漆器工房を見学しました。

県立博物館で岩手山の噴火などを学ぶ

１年生にとっては、自分たちの住む地域のさまざま歴史や伝統を再認識する貴重な機会となりました。

▶市博物館では、漆塗りの歴史や文化を学びました。海外から入ってきたプラスチックで一時的に漆文化が衰退したことを知りました。また、展示物の質が落ちないよう一定の温度で保管されていることに驚きました。
（１Ａ　大和悠莉）

真剣にメモをとる１年生

▶安比塗漆器工房では、高価な皿やスプーンに驚きましたが、６回にも及ぶ重ね塗りや上塗りが埃一つ許されない神経を集中させる仕事であること、漆が貴重だということを知り、値段に納得しました。
（１Ｃ　岩崎結人）

安比塗の作品を見学

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

バレーボール部　部長
羽沢 亜梨沙さん
（家政科学科３年：安代中出身）

★平高に入学した理由

一日体験入学に参加した際に、先生や先輩たちが優しく、雰囲気の良い学校だと思ったことと、家政科学科の家庭クラブ研究発表大会に向けた活動などを知り、自分も衣食住や保育・福祉など内容の濃い家庭専門科目の授業を受けたいと思い入学を決めました。

★平高で頑張ったこと

部活動と食物調理技術検定の資格取得です。

バレーボール部は人数が少なく、高総体に出場することはできませんでしたが、部員全員で切磋琢磨し、技術の向上を目指して日々の基礎練習を頑張りました。

食物検定では、指定された調理法や献立を繰り返し練習し、心が折れそうになったこともありましたが、諦めずに取り組み、合格することができました。

★将来の夢は？

保育士になりたいと思っています。子ども一人一人に寄り添い、保護者からも信頼されるような保育士を目指しています。そのために大学進学を希望していますが、私が苦手な国語と英語が必須科目なので、日々の授業に今まで以上に真剣に取り組んでいます。また、時間を見つけてピアノの練習にも取り組んでいます。

絵本を題材にした切り絵の製作に取り組む羽沢さん

平高通信 VOL 31

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

我らの紫根染めをつなぐ

２年生の47人は総合的な探究の時間に、本校で伝承されてきた「紫根染め」を体験。紫根染めをつなぐ１人としての理解を深めました。

家庭クラブ委員が講師役を務めたこの取り組みは２週にわたり、１週目は平高とムラサキ草の歴史（校章のモチーフの由来や伝承活動）、染色方法、絞り模様の入れ方について学び、翌週は絞り模様を入れ、紫根染めを繰り返し、水洗い・乾燥の工程を経て作品が完成。生徒はそれぞれのポケットチーフを染め上げました。

絞り模様を説明する家庭クラブ員

◆世界に一つ。生徒それぞれの力作が仕上がる

▶絶滅危惧種のムラサキを広めるためにも、このような活動は大事だと思った。家庭クラブ委員に教えてもらいながら染めることができ、良い経験になったと思う。（２Ａ 工藤 優真）

▶今回の授業で紫根染めの一連の流れや、紫根染めは時間をかけるほど、より美しい物が出来るということも知りました。（２Ａ 大坪 怜央）

色鮮やかな紫色に染まりました

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

陸上競技部　部長
澤口 颯人さん
（家政科学科２年：西根中出身）

★平高に入学した理由

将来は調理師になりたいと思っていたので、自宅から通学がしやすく、食物調理技術検定の資格が取得できる平高の家政科学科に入学を決めました。

★平高で頑張っていること

食物調理技術検定３級を取得するため、学校だけでなく家でも練習を重ね、合格することができました。次は２級・１級の検定に向け頑張っています。

部活動の陸上競技部では、１００メートルで11秒台を目指して、坂ダッシュをしたり、軽トラックを押す練習も取り入れ、日々努力しています。

★平高の楽しいところや魅力

学校生活はとても楽しいです。先生全員が優しいので、授業でも行事でも話しやすいです。全校生徒は少ないですが、その分たくさんコミュニケーションを取ることができ、みんなと仲良くなれます。また、平高でしかできない「ムラサキの栽培」や「紫根染め」を体験できることも魅力です。

★将来の夢は？

給食センターで献立を考える管理栄養士になることが夢です。大学に進学できるように授業に集中し、テスト勉強も頑張っています。

染液を作り、紫根染めの準備を進める澤口さん

平高通信 VOL 32

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

ウェブサイト ここだよ

平高の魅力や話題を発信します 【問い合わせ先】平舘高 ☎74-2610 HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

家庭クラブ ５年連続で全国大会へ出場

第70回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会は７月28、29の両日、山形市で開かれ、学校家庭クラブ活動の部に平高家庭クラブが出場。東北ブロック代表として５年連続出場を果たしました。

今回の発表のテーマは「My Bag in Your Pocket」。前年度に開発した本校オリジナルマイバックの利点を生かし、普段の生活の中でポケットに入れて手軽に持ち歩けるマイバック「持ち歩こうマイバック」を開発したうえで、その普及活動にも取り組んだという研究発表の内容です。余り布を活用して改善を重ねながら、さらに進化したマイバックを完成させ、学校ウェブサイトを活用して作り方の動画配信などにも挑戦しました。また、マイバック利用の具体的なアクションとして製作過程に関わってもらう「My Bagチャレンジ」を企画し、100人を超える地域の人などに参加していただきました。

それぞれの「持ち歩こうマイバック」

家庭クラブでは、今後もプラスチックごみ削減への意識を持続させ、より多くの人に「持ち歩こうマイバック」を届けたいと、現在も活動を継続しています。

本番では、悔いの無い発表が出来ました

／作り方は、学校の家政科学科ウェブサイトから
リンクの youtube 動画で配信中だよ。＼

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

卓球部 部長・生徒会長
大澤 英朗（ひであき）さん
（普通科２年：西根中出身）

★平高に入学した理由

学校案内や学校紹介のポスターで、知っている先輩が入学していたので親しみを感じました。また、地元の高校という安心感や中学校の先生からの勧めもあり、入学したいと思うようになりました。

★平高で頑張っていること

生徒会と部活動を頑張っています。生徒会では、先日の選挙で会長に当選することができたので、先輩が行ってきた活動を引き継ぎ、多くの生徒の意見を取りこぼさないように生徒総会などの場での話し合いを活発に行っていきたいです。卓球部では、仲間と共に技術を研き合うことができ、とても充実感があります。

★平高の楽しいところや魅力

生徒数が少ないので、クラスや学年をまたいだ交流もしやすいです。そして学校の雰囲気が明るく、勉強や部活動などさまざまな場面で助け合うことができ、自分の目標にも挑みやすい学校です。

★将来の夢・進路は？

まだ決まっていませんが、夏休み中のインターンシップに参加し仕事の大変さを学びました。面接試験などに備えて言葉遣いには気をつけています。先輩の進路も参考に、しっかり考えていきたいです。

立会演説会で、思いを訴える大澤さん(右)

平高通信 VOL 33

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

生徒が主役の取り組み

◆伝統の紫薫祭を開催

本校の文化祭である「紫薫祭」が10月15、16の両日行われました。新型コロナウイルス感染防止対策のため入場者を保護者に限定しての開催でしたが、全校生徒一丸となって来場者に最高のおもてなしができました。美術部展示、書道展、囲碁将棋サロン、家庭研究部によるお茶会・生け花、吹奏楽部演奏会など文化部による企画を中心に、クラス・学年・委員会企画、家政科学科の展示・研究発表など企画満載でした。今年の紫薫祭テーマ「天衣無縫」～Don't worry Be happy～を生徒一人一人が意識して、笑顔で楽しむことができた２日間でした。

ギター演奏で会場を沸かせる３年音楽選択生

◆西根一中と復興教育スクール交流学習会を行う

本校３年生の10人が、いわて復興教育スクール事業の一環として10月28日、西根第一中学校を訪問し、２年生34人と交流学習を行いました。

交流学習では本校３年生と西根第一中学校の２年生が、それぞれ沿岸被災地を訪問した内容を、スライドを用いて発表。その後、グループに分かれて、発表の感想を共有し、交流を深めました。

発表の感想を聞き取る平舘高の生徒

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

硬式野球部 キャプテン

畠山 結樹さん

（普通科２年：安代中出身）

★平高に入学した理由

一日体験入学で硬式野球部を見学した際、顧問の先生や先輩たちが優しく対応してくれたことが入学を考えるきっかけになりました。また、高校入学後の目標が「文武両道」だったので、家から近い平高が、勉強時間も部活動の時間も多く確保できると思い入学を決めました。

★平高で頑張っていること

硬式野球部では県大会出場を目標に、普段の練習の質を上げることを意識し、キャプテンとしてチームをまとめるよう努力しています。

平高恒例の行事である紫薫祭では、選択授業で音楽を選んだ生徒による合唱のピアノ伴奏を務めました。昼休みなどの時間も使って、約1カ月かけて伴奏曲の練習を頑張り、当日はその成果を発揮することができました。

★平高の楽しいところや魅力

特に体育祭や紫薫祭が、友達と盛り上がるので楽しいです。紫薫祭では互いの作品を鑑賞し合うことも楽しいです。

★将来の夢・進路は？

まだはっきりとは決まっていませんが、社会貢献ができればと考えています。できるなら、地元に就職して市に貢献したいです。

ピアノ伴奏で合唱を盛り上げる畠山さん（手前）

平高通信 VOL 34

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

学びの積み重ねが高評価に

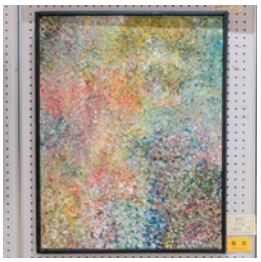
◆生徒が考えた朝食レシピのコンテストを開催

家政科学科３年ライフデザインコース13人による朝食レシピコンテスト「八幡平の宝物」が11月17日、平高で開催されました。コンテストは、新安比温泉静流閣様から「高校生が地元の食材に親しみ発信する機会になれば」と提案があり初めて開催したもので、生徒は市産の食材を用いた朝食レシピの考案と試作を３カ月前から重ねてきました。当日は13品の力作を発表。「八幡平らしさ」と「朝食らしさ」を基準に審査が行われ、畠山和佳菜（わかな）さんの「納豆ときゅうりの塩麹白和え」、古舘里菜（りな）さんの「舞茸とピーマンの塩麹チーズin豚ロール」、齋藤愛美（えみ）さんの「塩麹フレンチトースト」の３品が上位入賞しました。３品は今後約１年間、静流閣様の朝食バイキングに週末限定で提供される予定です。

完成した力作を前にガッツポーズ

◆美術部の絵画作品が入選

11月12日から４日間開催された「第45回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展」で、平高美術部員の絵画作品５点が入選、うち１点は特賞を受賞しました。特賞は家政科学科３年の吉田鈴（りん）さんが描いた、鮮やかな色合いや絵の具の凹凸が魅力的な作品です。出品した作品は校内に飾っています。来校の際はぜひ鑑賞してください。


特賞を受賞した吉田さんの「霞景色」

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

家庭研究部・家庭クラブ役員
佐々木 心優（みゆう）さん
（家政科学科２年：西根中出身）

★平高に入学した理由

一日体験入学のときに、被服や調理などさまざまな家庭科の専門科目を学べること、多くの資格取得が目指せることを知り、私も平高で頑張りたいと思い入学を決めました。

★平高で頑張っていること

被服製作和裁検定の資格取得と家庭クラブ活動です。被服製作和裁検定は、２級まで取得することができたので、今は１月に実施される１級を目指して浴衣を製作中です。家庭クラブ活動では、伝統の紫根染や染めの材料となるムラサキ草の研究活動に取り組んでいます。今後も紫根染を継承できるように家庭クラブ員と協力しながら取り組んでいきたいです。

秋田県鹿角市の鹿角紫根染・茜染研究会で紫根染を体験する佐々木さん

★平高の楽しいところや魅力

学校生活はとても楽しいです。家庭科は実習もあり、先生は丁寧で、充実した学校生活を送っていると実感します。

★将来の夢・進路は？

迷っている部分もありますが、学んだことを生かし地域に貢献できる仕事をしたいと考えています。そのため、漢字検定や英語検定などの資格取得や、苦手科目にも真剣に取り組み、今まで以上に学力を身に付けられるよう頑張りたいと思います。

平高通信 VOL 35

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

さまざまな分野の体験を積み重ねる

◆１年生活産業基礎の授業でホテル実習

12月２日、ANAクラウンプラザリゾート安比高原（旧ホテル安比グランド）で、家政科学科１年生がホテル実習を行いました。客室・フロント業務の見学の他、接遇の講習やバンケットセッティング（祝宴準備など）実習を行い、観光・サービス関連分野の仕事への興味や関心を高めています。

緊張した表情で食器を扱う生徒

▶あいさつは、表情、態度、身だしなみ、言葉遣いが大切で、相手と目をしっかり合わせてこそ本当の挨拶であることに気づかされました（１Ｃ小林由奈（ゆな））。

◆大雨洪水ワークショップを開催

12月６日、盛岡地方気象台から講師を招き、全校生徒を対象に大雨・洪水のワークショップを開催。ワークショップでは、平舘地域の防災マップをもとに、大雨による土砂災害を想定した避難行動などをグループごとに考え、発表しました。

生徒たちは、大雨災害から身を守るためには、地域の災害リスクを知ること、警戒レベルなどテレビやラジオから発信される気象情報の知識を身に付けることの大切さを学び、避難場所や避難経路の事前把握に加え、災害時は避難情報を的確に収集し早めに命を守る行動を取ることの重要性を認識しました。

大雨・洪水の想定をもとに避難先などを確認する生徒

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

美術部・広報委員会委員長

角舘 咲（さき）さん

（普通科２年：松尾中出身）

★平高に入学した理由

姉が平高出身で、何かあった時に、先生に相談しやすい良い雰囲気だということを教えてもらい、入学したいと思いました。

★平高で頑張っていること

入学当初から、部活動と勉強の両立を目標にして、部活動に一生懸命取り組み、勉強は家でもできるだけ取り組んでいます。商業系の検定や模擬試験などの勉強は大変ですが、就職の幅を広げるため頑張っています。また、先生や友達に明るいあいさつをすることも心掛けています。

広報委員会では、年に一回発行する生徒会誌「わだち」の編集に取り組み、校内行事の良さが伝わるように記事を書くことなど、委員長として責任を持って仕事をしています。

★平高の楽しいところや魅力

学校生活はとても楽しいです。友達との交流や部活動の美術部でみんなと目標に向かって作品を制作することが特に楽しいです。

★将来の夢・進路は？

公務員になって、市民が生活しやすい環境づくりに尽力したいです。そのために、盛岡の専門学校で公務員講座を受講し、夢に向かって取り組んでいます。

岩手県高校総合文化祭に出品した作品「救い」と咲さん（紫薫ギャラリー）

平高通信 VOL 36

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

運動部の交流事業を紹介します

◆硬式野球部がスポーツ少年団と野球交流

平高野球部は年間を通じて市内スポーツ少年団との野球交流を実施していますが、冬期間には全７回のスポ少交流会を行いました。

野球人口の減少が著しい中、スポーツ少年団の団員と高校野球の垣根を越えた交流を行うことで、互いのレベルアップを図るとともに野球の楽しさを知ってもらい、少年たちが野球競技を将来も続ける意欲を持続させることが目的です。

トスバッティング練習をする小学生と平高生

交流会では平高野球部員が野球の先生となり、自分たちが企画した内容を団員に教えながら一緒に練習。部員にとっても団員にとっても経験や技術向上の良い機会となりました。

◆相撲部は強化練習で茨城県、秋田県へ

相撲部は３月の全国選抜大会（高知県）に向けた強化練習として、１月21、22の両日は茨城県へ、28、29の両日は秋田県へ遠征しました。茨城県では東洋大牛久高校、専修大松戸高校と、秋田県では秋田県、青森県の選抜選手と合同で稽古をしました。いずれも、全国で活躍する強豪選手を相手に普段の練習ではできない稽古ができ、有意義な遠征になりました。

五所川原農林高校の生徒と申し合い稽古をする２年工藤佳太さん（右）

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

バスケットボール部

田村 元気（げんき）さん

（普通科２年：西根第一中出身）

★平高に入学した理由

地元の高校なので、通学しやすいことと、兄と姉も平高の卒業生で、体育祭など行事が楽しいという話も聞いていたので、入学を決めました。

★平高で頑張っていること

資格取得と部活動を頑張っています。特に危険物の資格取得に関する情報収集や筆記試験に向けて苦手意識のある用語の暗記に力を入れて取り組んでいます。またバスケットボール部では、チーム内で連携が取れるよう、声を掛け合って練習することを心掛けています。次の展開を予測して、一緒にプレーする時間がとても充実しています。

★平高の魅力は？

１つ目は、ムラサキの伝承活動が有名なことです。紫根染めの紫色はとても高貴な色ですが、原料のムラサキ草が少なくなってきていると聞きました。自分も紫根染めを体験しましたが、活動を次につなげていければと思います。

２つ目は、先生と何でも話せる環境があることです。自分も担任の先生と進路の話のほかいろいろな話をします。

★将来の夢・進路は？

水質の管理や自然環境を守ることにつながるような仕事に就きたいです。

敵陣に鋭く切り込み、ゴールを狙う田村さん